

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議 事務局長 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川県中小企業センター5F
 TEL045-633-5192 FAX045-633-5194
 Email : zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

！ “異グ連20周年記念交流大会” ！有り難うございました！！

芝 忠

4月28日、前日の台風並みの風雨強かりし天気とは打って変わった快晴日和に、神奈川県異業種グループ連絡会議（異グ連）の20周年記念交流大会が開催されました。ご多忙中、200人の方々にご参加いただきまことに有り難うございます。深く感謝申し上げます。またご来賓の松沢神奈川県知事、朴韓国中小企業振興公団日本事務所長、片山(財)中小企業異業種交流財団理事長、松原山口県異業種グループ連絡協議会副会長、神座神奈川県中小企業家同友会代表理事の方々にも御礼申し上げます。

記念講演も横浜市戸塚区内の洋服屋、中鷺敏男氏に「洋服づくりと異分野交流—高齢化社会への対応」と題して1時間、大変ユニークな半生を感動的にお話いただきました。

後半のパネルディスカッションは南出健一議長をコーディネータに、岩手大学地域連携推進センター清水所長、山形県米沢電機工業会皆川理事、京都府異業種交流会連絡会議異事務局長、大分県異業種団体協議会鈴木会長、神奈川県オールディーズシニアクラブ八幡事務局長の5人。午前中に行われた「第一回広域ネットワーク化研究会」の討論を踏まえて、ネットワークを活用した成果事例が紹介され、広域ネットワークへの期待が表明されました。会場からは東京・山形・新潟・国の地域公団など10人を越える参加者から発言があり、ネットワークの必要性だけでなく、インターネットの限界やら、基本的には人と人の関係が重要と強調されました。

都道府県段階での連絡組織（協議会等）の中で20周年を迎えるのは神奈川県が初めてです。今後、各地のグループや協議会等が20周年をどのように迎えるのかが大変興味が湧きます。新潟県からは県段階の組織をこの3月末で解散したという通知を受けました。「今後は『異業種』の概念にこだわらず支援」と表現されていますが、神奈川県では新規事業分野進出や新会社設立・産学公連携、ベンチャー支援さらには都市再生など幅広くテーマを設定して活動しています。異業種交流の概念の拡張を積極的に行ってきました。いわゆる「経営革新」から「創業支援」、「産学連携」まで「異業種交流の手法の活用」として考えてきました。従って既存異業種グループだけを対象とするのではなく、新たな事業化に挑戦する意欲の有る中小企業や個人も対象として相談窓口を開き、プロジェクトやグルーピングの組織化を先導してきましたので、時代の環境変化に非常に強い体質が出来てきたと言えます。地域の中小企業や消費者、あるいは大学等との交流を行うことにより、時代が要求する課題設定が可能となります。我々は今一層の努力をしながら地域の期待に応えていく新たな21年目の一歩を踏み出したいと思えます。

主要な“かながわ異グ連”のプロジェクト、及び研究会の活動報告

ネットワークジュニア（後継者育成）

石井（徹）AD

KIKの次世代経営幹部会と合流することは昨年決まっていた。3月KIK幹部と次世代経営幹部会幹事と協議が行われ、基本方針が確認されました。

- ①KIK会員各社より最低1名が参加する。
- ②KIK例会とは別に定例会を開催し自主的に運営する。
- ③定例会にKIK正会員より講師が出席する。
- ④オブザーバーとして池田担当理事および事務局が出席する。

基本方針は4月21日(水)KIK定例会にて了承され決定しました。近々参加会員も決定し今後の具体的運営方針の打合せが行われる予定です。

AD：神奈川県異グ連交流アドバイザー

都市（関内）再生プロジェクト

織方BC

「医療モール」が、全国的に広がりつつあると、日系タ刊（3/11）に報じられていました。これは既にアメリカでは普及しているそうです。

複数の診療所が一箇所のビルに同居して、あたかも総合病院のように、個人開業医のリスクやコストを軽減し、患者の利便性が向上することにより集客力も高まるという狙いがあります。

関内には一時は4～5箇所の総合病院があったが現在は皆無に等しい状態です。ビルの用途変更（コンバージョン方式）により、空きビルを活用する一つのヒントと考えています。

BC：神奈川県中小企業センタービジネスコーディネータ

新防食技術活用プロジェクト

田中(繁)BC

5月11日(火)に例会を開催し、「海洋施設の防食技術」を中心として、参加企業の情報交換と今後のビジネスチャンス発掘についての意見交換をした。横浜国立大学朝倉研究室が研究開発した亜鉛と黒鉛を混ぜたセメントによる電解防食技術が紹介され、海洋施設の防食塗装に代替できるとの提案があった。また、朝倉教授が大学発ベンチャー「株式会社ベンチャーアカデミア」を設立され、防食関連コンサルタント、受託調査、新防食技術の事業化と技術者リカレント教育をビジネスとして展開するとの紹介があった。**次回例会は7月中旬に開催します。**

高機能・環境舗装等プロジェクト

織方BC

新会社「株日本環境技研」がスタートしました。新舗装材に関して、今後は量産体制・販売促進が課題となるが、並行して「2次製品の研究開発」も重要と考えています。

超硬度・透水性・保水性等の性格を有する「複合繊維樹脂」を活用して、例えば、汚水浄化、壁建材や屋上緑化への応用、焼却灰・ゴムチップ・木チップ等産廃物を混合しての路盤材・平板・煉瓦への利用、さらに空港の滑走路への実用化など用途開発は、画期的で無限に広がっています。

オールデイズシニアクラブ

八幡BC

去る4月16日第4回定時総会を開催しました。特に活動予定の中で第2回チャリティー映画祭として9月11日(土)午後と夜の2回「ホームスイートホーム2・日傘の来た道」を上映することになりました。鑑賞券は一枚1,000円で近く発売予定です。異グ連の皆様のご協力をお願いします。

韓国(第42回日韓ビジネス協議会)

高橋BC

第42回日韓ビジネス協議会は、H16年度総会として開催いたしました(議長 瀧澤 清氏を選出)

1、事務局より報告

①2003年度の報告、②会計報告、③2004年度の役員紹介&会則改正④今年度の計画など

2、会計監査報告：(有)松本技術研究所 松本秀明氏

3、最近の情報：韓国中小企業振興公団 朴 魯鍊氏

4、民団および関連機関の紹介、日韓親善協会の紹介と活動状況：民団・神奈川地方本部 盧 慶均氏

参加はどなたも自由ですので関心ある企業の参加を歓迎致します。

次回は5月26日(水)中小企業センター6階・特別研修室。申し込みはTEL：045-311-0094 高橋までご連絡ください。

！航空宇宙開発関連部品調達支援プロジェクト**から新会社が設立されました！**

荒BC

神奈川異グ連の「航空宇宙開発関連部品調達支援プロジェクト」から、新会社“**JASPA株式会社**”(Japan Aerospace Parts Association)が4月14日(水)に設立されました。

「航空宇宙開発関連部品調達支援プロジェクト」は、H14年12月に異グ連内部の事業化プロジェクトとしてスタートし、準備段階を経てH15年9月18日に、NASDA及び約60社の企業が出席の下で正式に発足いたしました。当プロジェクトは企業代表4幹事、事務局5名で、会員は35社神奈川県と東京大田区が主体であるが、プロジェクトに賛同いただければ全国何処からでも入会できます。

新会社“JASPA株式会社”は「資本金1000万円、代表 池田正和」で発足しましたが、今後出資に参加いただける企業を広く募集していきます。JASPAの事業内容は次のとおりです。

- 1、JAXA(旧NASDA)及び国内外の航空宇宙関連システムメーカー向けに、国内中小企業の提供部品、製品の品質保証業務を行う。
- 2、同上向けに、国内中小企業が製造した部品、製品に対して、品質保証認定(又は企業認定)が取得出来るよう管理体制の構築を指導支援する。
- 3、同上向け及びその他一般向けに、国内中小企業が製造した部品、製品、設計等の品質保証業務と受発注活動を行う。
- 4、同上向け及びその他一般向けに、国内中小企業が製造する部品、製品、設計、処理等の認定取得への指導支援を行い、発注メーカーに対し品質保証の簡素化を提案し、品質、コストの安定化を図る。

現在日本の航空宇宙関連部品を、JAXA、国内外メーカーから受注する場合、品質保証認定、工程管理認定を受けなければならない。大手メーカーは基本的管理規程の認定を受けているが、中小企業独自の部品製品に対し認定取得の指導支援、出荷検査代行、受入検査代行を行う新しい品質保証の仕組みを作り、ひいては日本の航空宇宙関連部品製品の国産化率向上に寄与し、かつ中小製造業の底辺を拡大するのが目的です。

問い合わせは、TEL 045-431-5454, FAX 045-423-14444, Mail ams_nao@mbh.nifty.com 荒まで！

<p>KIK (85神奈川異業種交流プラザ) 渡部BC</p> <p>5月11日、平成16年度総会並びに記念交流会が新潟県で行われた。当日の新潟市は30度を越える真夏日の東京が嘘のような肌寒い小雨模様で、夜の懇親会に出された本場の酒や肴が一段と美味に感じられました。</p> <p>新潟到着後早々に会員企業である田中サッシュ工業(株)新潟工場見学を済ませた我々は新潟市内のホテルで総会を行い、続いて新潟県先端技術研究会(会員数50企業)並びに米沢電機工業会との三者交流会、記念パーティそして懇親会と刻みみのスケジュールとなりました。</p> <p>交流会前半は初対面の方も多く自社紹介を中心に進められた。しかし後半からは当会員でJASPA(株)社長の池田正和氏や、先端技術研究会員として参加された「まんてんプロジェクト」幹事(株)山之内製作所の山之内慶次郎社長による宇宙関連部品製造など異グ連プロジェクトに関する話題が中心となったが、今回KIK事務局の立場で参加している小生にとっては少々痛し痒しでもあった。しかしまた、神奈川異グ連が全国に先駆けて行っているこれらプロジェクトが、今後より一層全国的反響を呼ぶであろう事も会議の様子からも再度確信できた。</p> <p>翌日の見学会は、午前中その(株)山之内製作所における超精密加工事業への革新的取組みと従業員の能力向上策拝見、また午後は長岡市の久保誠電気興業(株)(配電、制御盤製造)で礼節と協調を重んじる家父長的企業風土の下での事業安定化と、地域・地場に根を持った企業の強さを垣間見るでき、参加者一同大いに触発された一日でした。</p>	<p>シフト21 有村BC</p> <p>「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るための異業種交流グループです。</p> <p>毎月第2火曜日に定例会を開催し、外部講師による講演、会員からの話題提供による議論、先進企業視察などを通じて交流と研鑽を図っています。今月は5月11日(火)、会員の(株)ティーエムイー専務取締役 小海司氏の話題提供とファシリテーションによって「ソフト開発の現場」と題し、ソフトウェア開発の現場での諸問題、中小企業のIT化の現状と課題、ソフトウェア産業の将来などについて活発な意見交換を行いました。</p> <p>シフト21では企業の参加を歓迎しております。業種は問いません。初回参加は無料、2～3回目までは1回千円でご参加いただけます。お問合せは有村まで hda00467@nifty.ne.jp</p>
<p style="text-align: center;">芝事務局が茅ヶ崎市で「環境と商店活性化」について講演しました。 相楽BC</p> <p>「茅ヶ崎市商店会連合会」は、「市民と商業者、環境と経済でこのまちを見つめたい!」というセミナーを主催しましたが、かねてから神奈川異グ連活動に注目してようで、芝事務局を講師に招きました。芝事務局は“資源環境と商店街活性化のこれまでとこれからを考える”と題して、セミナーの基調講演を行いました。講演のポイントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「商店街を歩いて楽しいか」と市民に聞くところから始まる。他市アンケート結果では、「イエス、7%」「ノー38%」であった。商店街は利便性の集積を求められている、と考え勝ちだが、そこで止まらず、エコに転換できるか、が大事な点である。 ・ どの商店街も売上が落ちている。落ちを食い止め、伸ばすことが必要である。売れる開発をするために異なる業種や他店の知恵を出し合う、他人の意見を聞いてみる事が大切である。下請け関係でない自立した連携による「オンリーワン」つまり自分しか持たない商品やサービスを持つことがポイントになる。 ・ しかもそれが、環境と折り合いのつくものか、茅ヶ崎でやっている「エコカルテ」「マイバック運動」「リターナブルワイン」を、商店街を歩いて楽しいものとしていくことになればいいのである。 <p>なお、この講演に先立って、わが「中小商店活性化プロジェクトチーム」は、芝会長をはじめ、7名のメンバーが事前に茅ヶ崎市商店会を訪問し、会長(浜田屋社長岩澤裕氏)はじめ幹部と懇談し、現地を見学しました。</p>	
<p>予告 神奈川異グ連総会・P&G交流大会のご案内 (P&G:プロジェクト・グループ) 事務局</p> <p>来る6月25日(金)に神奈川異グ連総会・P&G交流大会を開催いたします。多数の皆様のご出席をお願い申し上げます。(問い合わせ:045-633-5192 芝、志村)</p> <p>1、日時 H16年6月25日(火) 13:00~18:30</p> <p>2-1、神奈川異グ連総会 13:00~13:45 於)神奈川中小企業センター6F大研修室</p> <p>2-2、プロジェクト・グループ交流大会 14:00~16:50 同上 13F第1会議室</p> <p>異グ連の各種事業化プロジェクトや従来型異業種交流グループの現状や将来の戦略課題について、会場の出席者の方にも参加いただき、意見交換や情報交流を行います。</p> <p>2-3、懇親交流会 17:10~18:30 於)神奈川中小企業センター5F交流プラザ</p>	

産学官交流サロン

予告 ！第2回横須賀交流サロン（三浦半島経済人サロン）が開催されます！

八幡BC

好評であった第一回（3月11日）に引き続き、「第2回三浦半島経済人サロン」が開催されます。

日時：平成16年5月26日（水）18：00～20：00

会場：神奈川新聞社 横須賀支社 4階会議室 横須賀市小川町21-9

参加費：1,000円当日支払い

内容：18：00 神奈川新聞横須賀支社長 岸 順之氏 演題「神奈川新聞の新戦略」
 18：20 異グ連事務局長 芝忠 演題「三浦半島経済人サロン」の方向性を探る。
 18：40 交流懇親会

申込み：FAX 045-633-5194 神奈川中小企業センター交流支援課内横須賀交流サロン事務局

報告 ！第2回かわさき経済人ネットワークサロン！が開催されました。

田中(繁)BC

4月27日（火）時ならぬ「春の嵐」の中をKBIC「かわさき新産業創造センター」で開催しました。悪天候で、当日キャンセルの方が多く出ましたが、それでも多くの方が参加され、内容の濃い交流サロンができました。

5時半からKBICの見学会を行い、6時からKBICの横井文良センター新所長より、ご自身の経歴とKBICの最近状況の紹介がありました。川崎市の産業発展を目指して、新産業創造の為にインキュベーション事業とものづくりを中心とした基盤技術強化事業を推進しており、入居者24社の小さなインキュベータですが、地域密着型と慶応大学との連携（K2スクエア）によるメリットを特長としています。

続いて、飯沼インキュベーションマネージャーから入居企業のうちサイバーレーザー社（付加価値の高いフェムト秒レーザーを開発しており、2005年株式公開を目指しているハイテクベンチャー）と有限会社ウイルビーマーケット（女性の感性を活かし、マーケティングを支援する会社）の紹介がありました。

参加者の中から海援隊21の牟田口代表から川崎市の臨海部で計画が進んでいる「アジア起業家村」の構想に関して、仕掛け人の立場で、将来の夢を語って頂きました。また、知恵の和の真野学代表からは桜木町西側の掃部山公園（紅葉丘）、伊勢山皇大神宮、御所山公園、野毛公園を中心とした地域活性化構想の紹介と地域の伝統を大事にする地域旦那衆と連携した推進の紹介がありました。

次回は6月22日（火）の6時から（株）KSPの310会議室で開催します。テーマは（財）神奈川科学技術アカデミー（KAST）馬場専務理事による「日本発の世界的技術である光触媒を中心としたKASTの研究紹介」とNPO法人「D&D、夢と多様性」豊島理事長による光触媒を活用したアートフラワー構想の実物紹介を予定しています。参加者からもご自身の活動紹介のチャンスがありますので、奮ってご参加ください。

参加申し込み、問い合わせは神奈川異グ連事務局または電子メールで担当者の田中へ
s-tanaka@saturn.dti.ne.jp

<編集後記>

比較的好天に恵まれた5月8日（土）「日本経営品質学会—H16年度春季研究発表大会」が、東大キャンパス経済学部第一教室で開催されました。統一テーマは“経営品質とCSR”（CSR: Corporate Social Responsibility）で、現代社会を揺るがす様々な事件が相次ぎ発生している中での「企業の社会的責任」の取り組みについて全国の大学教授や企業より発表されました。

CSRを組織内に浸透させることが、翻って「企業価値の向上」から「株主価値の向上」へつながる事、組織内に浸透させるのは「トップダウン」では無く、また「ボトムアップ」でも無い。“コミュニケーション”であるとの主張に、異業種交流の本質に通じるものがあると改めて感じました。

不忍池やキャンパス内の三四郎池等の散策とあわせ、久々に有意義な一日でした。 (事務局 小野川)

かながわ異グ連会員の方、会員でない方、どなたでも自由に情報交換・投稿が出来ます。

(投稿先：事務局スタッフ小野川利昌 onogawa@hkg.odn.ne.jp、FAX 044-954-6254

相楽 守 mamorusagara@mve.biglobe.ne.jp FAX 03-3701-9712)